

あなたに知ってほしい!

子ども医療費が 安くなる仕組み



▲りょーかん まもる



仕組みを知ろう



上手に使おう



困ったときは
相談しよう



みんなで支えよう



「もしも」と「いつも」に安心を。

協会けんぽ

全国健康保険協会 新潟支部

〒950-8513 新潟市中央区東大通2-4-4
日生不動産東大通ビル3階
TEL 025-242-0260

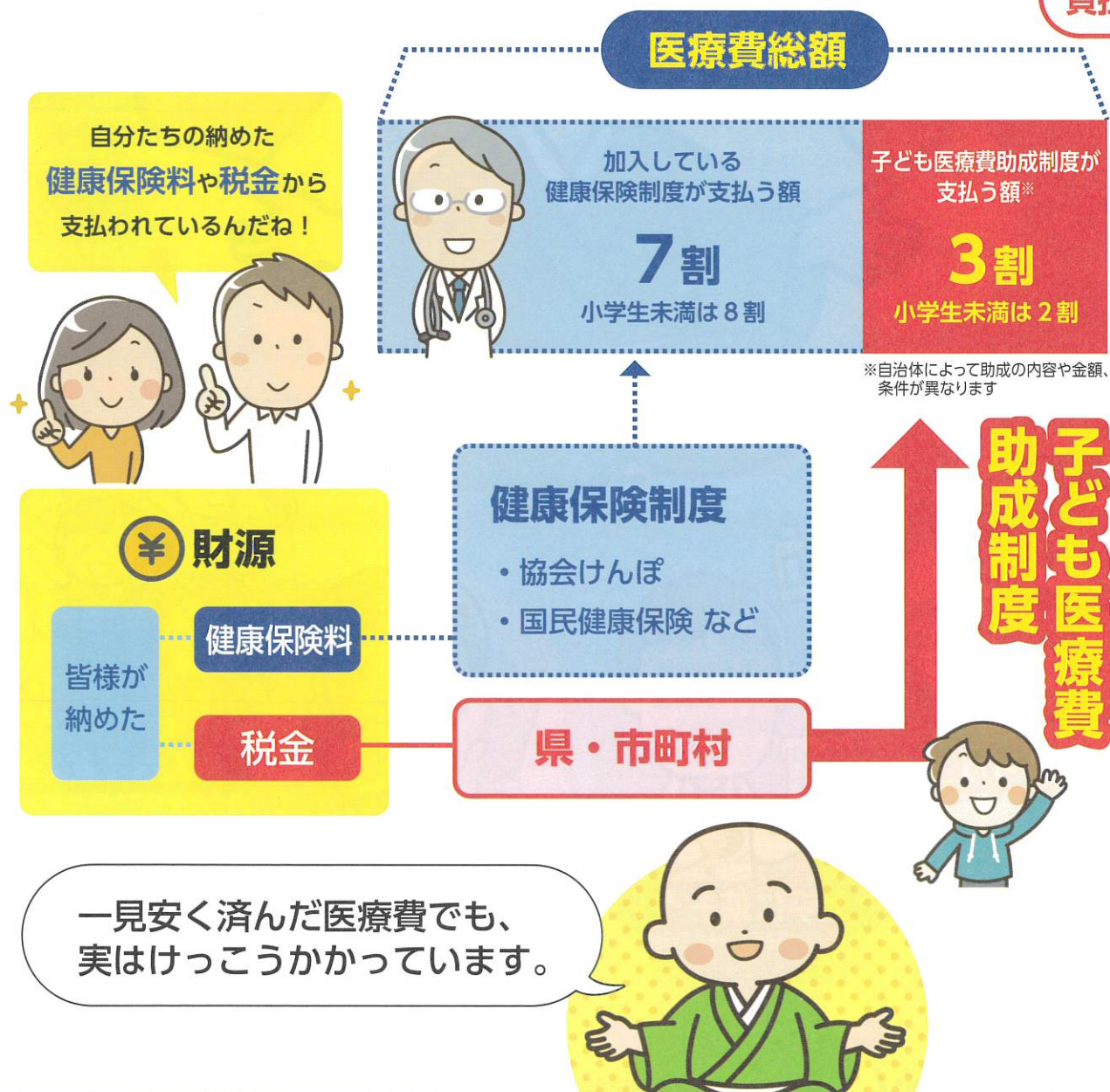
協会けんぽ 新潟





病院などの**窓口負担が無料**になったり、
安くなったりする仕組み

助成制度が
なかったら
患者が
負担する額





上手な医療のかかり方について

●夜間・休日は#8000のご利用を

夜間・休日にお子様の急な病気やケガで受診するか迷ったときは、「小児救急医療電話相談」をご利用ください。



#8000 または
025-288-2525

詳しくは厚生労働省ホームページを⇒
ご確認ください。



●かかりつけ医を持ちましょう

- 1 かかりつけ医を決めることで医師が日頃の健康状態を把握できるため、病気の予防や早期発見につながります。
- 2 病気や症状、治療法についての確な診断やアドバイスをしてくれます。
- 3 どこにかかったらいいかわからないときも、かかりつけ医に相談すれば適切な医療機関を紹介してくれます。

かかりつけ医を選ぶポイントはこちら

上手な医療のかかり方.jp
(厚生労働省)



●緊急時以外は、 平日昼間に受診しましょう

夜間や休日の「時間外診療」は通常、緊急性の高い患者のために設置されています。夜間・休日などの時間外に受診すると、医療費が加算されます。

●はしご受診をやめましょう

同じ病気やケガで複数の医療機関に受診することを「はしご受診」といい、受診のたびに初診料がかかってしまいます。また、同じような検査や投薬を受けることは身体への負担にもなってしまいます。

●受診の際はマイナ保険証を持参しましょう

マイナンバーカードで受診すると、医師が過去のお薬情報や診療情報を確認できるため、重複検査や重複投薬のリスクが少なくなります。旅行先や災害時でも、薬の情報などが連携されます。



●OTC医薬品を活用しましょう

Over The Counter (カウンター越し) の略で、薬局やドラッグストアなどで、医師の処方せんがなくても購入できる医薬品のことです。自分自身で健康管理を行い、軽い病気の症状緩和などに活用することができます。

●ジェネリック医薬品を選びましょう

- 1 先発医薬品より、研究開発期間やコストが大幅に抑えることができ、お薬の価格が抑えられています。
- 2 先発医薬品と効き目や安全性が同等であることが証明されています。
- 3 薬の形や味が工夫され飲みやすくなっています。

3 について、たとえば…

- ・苦みをコーティング
- ・小型化
- ・水なしでも飲める



子育て世代の医療費負担を少なくし、子育てを応援するために、子ども医療費助成があります。医療費の財源は、皆様にお支払いいただいている健康保険料や税金です。限りある医療財源を守り、皆様の負担をできるだけ抑えるために、ご協力をお願いします。

